

女性の健康・食の安全の問題に取り組んでおります

たかがい恵美子 参議院議員



厚生労働大臣政務官の仕事

季節外れの猛暑と火山性地震活動の活発化・噴火など、地球規模での気候変動を実感させられる毎日です。皆さまの日々の生活には、支障が生じていないでしょうか。

国会は6月に入り、いよいよ審議にも熱が入ってきました。厚生労働分野では、労働者派遣法その他の重要法案が山積みとなっており、今国会も「最も多くの法案を・最も多くの審議時間をかけて運営される厚生労働委員会」となりそうです。

政務官は大臣・副大臣を補佐するという大事な任務がありますので、衆議院と参議院において複数の委員会が同時に開催される場合、様々な委員会に呼ばれる機会が増えます。例えば参議院の財金委、衆議院の地方再生特、内閣委、決算行政監視委など。接点の少ない委員会での答弁は、自分自身の見識を上げる機会でもあり、質問に立つ議員の考え方や問題意識に触れることができます。好奇心旺盛な私にとっては、とてもいい刺激となっています。

年度末には、皇居内の一室にて両陛下に拝謁し、直接言上申し上げる栄誉に恵まれました。公務の一環で、長年国内外の僻地にて地域医療に貢献なさった医療功労賞の受賞者11名をご案内したのです。この中には3名の看護職が含まれており、陛下の温かなまなざしとお言葉に触れ、ご家族とともに感激の涙を流しておられる様子に、私も胸が熱くなり、看護職であることが一層誇らしく思われました。



宮城県の医療機関にて看護職の皆様と



統一地方選挙での応援

東北三県の地方選はこれから本番

出身地の宮城県では、3月に国連防災世界会議が開催され、5月には「美しい日本の憲法をつくる宮城県民の会」が発足しました。また地元紙からは4月に実施された統一地方選について、自民党比例選出の参議院議員としてどのような応援態勢をとり、どのように情勢判断しているかという視点での取材がありました。地道な政治活動を通じて、広く各地の皆さまに、国会議員としての存在価値を認めていただければ、がんばります。

岩手県、宮城県、福島県の地方議会議員選挙は夏以降、順次実施される予定ですが、ひとつひとつの戦いを丁寧に乗り越え、一人でも多くの同志候補者が当選できるよう、御支援下さる方々と、おたがいの力を合わせて、全力で挑んでまいります。

女性の健康・食の安全への取り組み

「女性の健康の包括的支援に関する法律案」の提出準備も着々と進めています。この課題は政党間の諍いに左右されることなく、全会一致で成立すべきもの。したがって、懇切丁寧に動きかけを続けているのですが、未だに論点整理できない会派がひとつ存在しています。今国会での成立を目指し、広く国民の皆さまにもその必要性を理解していただくべく、今後は勉強会やシンポジウムの開催、各種広報活動を強化したいと



司会を務めた清和政策研究会細田会長勤続25周年記念パーティーにて南野知恵子先生と

女性医療ネットワーク12周年記念講演にて学生の皆様と



考えております。世界栄養報告の日本語版が発行され、その普及活用についても取り組みを進めています。今秋は世界的な保健医療の行動目標『ポスト2015年開発アジェンダ』が設定・公開される予定ですが、この中では、いかにして適切な

自民党看護問題対策議員連盟総会では事務局長として司会を担当



栄養摂取を可能にするかといった論点に脚光を浴びることになるでしょう。『食べることは生きること』であり、私たちは食を通じて、活動のエネルギーを得、家族の伝統や、地域の文化・風習を身につけています。食卓を囲むなかで人とのコミュニケーションを学び、命をいただくことの理解も深めていきます。

そしてまた、食品の生産・加工から流通・販売を通じて食卓に至る一連の過程において安全性を確保することが重要であることから、日本食品安全政策研究会を主催し、食品安全政策の動向や課題について食品事業者と議論しています。君津市で実施した車座トークでは、妊娠・出産包括支援モデル



千葉県君津市子育て支援センター視察

ル事業に関わった皆さまと膝を交えての意見交換を行うことができました。我が国では、授かった命を安全に迎えることができる環境を再構築することが急務です。そうした観点から始められたこの事業は、昨年試行的に29か所、今年度は全国150か所以上で実施いただける予算規模を獲得しました。地域毎の独自性を活かして、妊娠中から出産後最も不安な時期までを一貫して支えることのできる体制づくりを進



2014年世界栄養報告

めていただきたいと期待しています。同様に、国内で「女性の健康科学を育てる」という新たな試みにも予算がつきました。厚生労働科学研究事業の柱の一つとして、今年度からこの分野が創設されます。まもなく課題募集が始まりますので、看護職の皆さまにも研究費を活用いただき、女性の健康科学の振興に一役買っていただきたいと思っています。小さなことからコツコツと、今後も努力を続けます。



参議院財政金融委員会にて答弁



第43回医療功労賞表彰式



全旅連青年部役員の皆様と政務官室にて



福島県医療機器開発・安全性評価センター安全祈願祭・起工式